

「としま・まちごと福祉支援プロジェクト」イベント（2021年3月開催）報告書

3月27日（土）に行われました「としま・まちごと福祉支援プロジェクト」の市民参加イベントのご報告です。コロナ禍でありながらも、定員20名を超える20代～80代の老若男女にご参加いただき、満員御礼となりました。

NPO法人発達障がい者を支援する会の理事である濱田知希氏からお話いただきました。曰く「共生サロン南池袋」の“共生”という言葉に強く共感して、共生サロンの活動に関わることを決めたこと。また、自身も麻雀愛好家であり、コミュニケーションツールとして魅力があるということ等を語っていただきました。



参加者は20代の麻雀初心者女子から80代の愛好家まで、5卓20名のイベントとなり、まさに「共生」への第一歩を体現することができた会となりました。健康麻雀（麻将）は世代交流、フレイル予防のツールとして大きな可能性を秘めていると実感することができました。

参加者のみなさんの声

「コロナで久しぶりに開催された麻雀大会でうれしい」

「麻雀は世代を超えてブームになっているので多世代が同時に楽しむことができる」

「発達障がいを抱えている人はゲーム好きが多い」

「若い世代はテレビゲームで麻雀を始めており、リアルで集まることもまた新鮮味を感じている」

「定期的に共生サロンのイベント化できるといい」

「ボードゲームカフェのような別のゲームイベントもやってみたい」

濱田さんをはじめとする発達障害者当事者とその支援に関わる方、共生サロンで健康麻雀に通っている皆さんとの世代を超えた交流の場となりました。